

小型空調専用契約 (選択約款)

— 群馬地区 —

平成28年10月14日実施

東京瓦斯株式会社

平成28年7月15日 届出

目 次

1. 目的	1
2. 選択約款の届出および変更	1
3. 用語の定義	1
4. 適用条件	2
5. 契約の締結	2
6. 契約期間	3
7. 使用量の算定	4
8. 料金	4
9. 延滞利息	4
10. 単位料金の調整	5
11. 名義の変更	7
12. 契約の変更または解約	7
13. その他	8
付則	9
別表	13

1. 目的

この選択約款は、小型空調機器の普及を通じ負荷調整を推進しつつ当社の製造供給設備の効率的利用を図り、以って合理的・経済的なガス需給の確立に資することを目的といたします。

2. 選択約款の届出および変更

- (1) この選択約款は、ガス事業法第17条第12項の規定にもとづき、経済産業大臣に届け出たものです。
- (2) 当社は、この選択約款を経済産業大臣に届出の上、変更することがあります。この場合、ガス料金その他の供給条件は変更後の選択約款によるものといたします。
- (3) 当社は、一般ガス供給約款(群馬地区)(以下「一般ガス供給約款」といいます。)を変更した場合には、この選択約款を変更することがあります。

3. 用語の定義

この選択約款およびこの選択約款にもとづくガス需給契約(以下「ガス需給契約」および一般ガス供給約款に規定する「ガス使用契約」をそれぞれ「契約」といいます。)において使用する用語の定義は、次のとおりといたします。

- (1) 「空調機器」とは、エネルギー源としてガスを使用する空調用(冷房を目的とするもの)または冷却用の熱源機をいいます。
- (2) 「小型空調機器」とは、空調機器のうちガスエンジンヒートポンプ方式の機器および冷凍能力105.5kW (30US. RT)以下のガス吸収式の機器をいいます。

- (3) 「消費税等相当額」とは、消費税法の規定により課される消費税および地方税法の規定により課される地方消費税に相当する金額をいいます。この場合、その計算の結果、1円未満の端数が生じた場合には、その端数を切り捨てます。
- (4) 「消費税率」とは、消費税等相当額の、消費税法の規定により課される消費税の課税標準に対する割合をいいます。なお、この選択約款においては8パーセントといたします。
- (5) 「単位料金」とは、10に規定する基準単位料金または調整単位料金をいいます。

4. 適用条件

この選択約款は、次のすべての条件を満たし、お客さまがこの選択約款の適用を希望される場合に適用いたします。

- (1) 小型空調機器を使用すること。
- (2) 小型空調機器のガスの使用量を算定する専用のガスメーター（以下「小型空調機器専用ガスメーター」といいます。）を設置すること。
- (3) 当社が(1)から(2)の条件が満たされているかどうかを確認させていただく場合において、正当な事由がない限り、需要場所への立ち入りを承諾すること。

5. 契約の締結

- (1) この選択約款にもとづく契約の締結を希望されるお客さまは、当社が定める申し込み方法により、当社に申し込んでいただきます。
- (2) この選択約款にもとづく契約は、当社がお客さまからの申し込みを承諾した日（以下「契約成立日」といいます。）に成立いたします。

- (3) 当社は、この選択約款または他の選択約款にもとづく契約をその契約期間満了前に解約されたお客さまから、同一需要場所においてこの選択約款にもとづく契約の申し込みがなされた場合であって、その契約の開始日が当該解約の日から1年に満たない日となる場合には、その申し込みを承諾できないことがあります。ただし、設備の変更または建物の改築等のための一時不使用による解約の場合はこの限りではありません。
- (4) 当社は、この選択約款にもとづく契約を締結されているお客さまから、その契約期間満了前に他の選択約款にもとづく契約への変更の申し込みがなされた場合には、その申し込みを承諾できないことがあります。ただし、設備の変更または建物の改築等のための一時不使用による場合はこの限りではありません。
- (5) 当社は、お客さまが当社と他の契約(すでに消滅しているものを含みます。)の料金または延滞利息を、それぞれの契約に定める支払期限日を経過しても支払われていない場合は、この選択約款にもとづく契約の申し込みを承諾できないことがあります。

6. 契約期間

- (1) 契約期間は、契約成立日以降最初の定例検針日(契約成立日と定例検針日が同日の場合を含みます。)の翌日から、その定例検針日が属する月の翌年同月の定例検針日までといたします。ただし、契約成立日が新たにガスの使用を開始する日(以下「使用開始日」といいます。)以前の場合は、使用開始日から、その使用開始日が属する月の翌年同月の定例検針日までといたします。
- (2) 契約期間満了日以前に解約の申し込みがない場合は、この選択約款

にもとづく契約は、契約期間満了日の翌日からその満了日が属する月の翌年同月の定例検針日まで継続するものとし、以後これにならうものとしたします。

7. 使用量の算定

当社は、前回の検針日および今回の検針日における小型空調機器専用ガスメーターの読みにより使用量を算定いたします。

8. 料金

- (1) 当社は、別表の料金表を適用して、7の規定により算定した使用量にもとづき、その料金算定期間の料金を算定いたします。
- (2) 当社は、料金について、その計算の結果、1円未満の端数が生じた場合は、その端数を切り捨てます。
- (3) 料金は、一般ガス供給約款に規定する支払義務発生日の翌日から起算して30日以内にお支払いいただきます。ただし、支払義務発生日の翌日から起算して30日目(以下「支払期限日」といいます。)が一般ガス供給約款に規定する休日の場合には、その直後の休日でない日を支払期限日といたします。
- (4) お客さまと当社との協議により当社が継続して当社との他の契約の料金と一括して請求することとした場合の支払期限日は、(3)の規定にかかわらず、一般ガス供給約款の規定によるものとしたします。

9. 延滞利息

- (1) お客さまが、支払期限日を経過してもなお料金を支払われない場合は、当社は、支払期限日の翌日から支払いの日までの期間に応じて延

滞利息を申し受けます。ただし、料金を口座振替により支払われる場合で、当社の都合により料金を支払期限日の翌日以降にお客さまの口座から引き落としした場合には延滞利息は申し受けません。

- (2) 延滞利息は、次の算式により算定して得た金額といたします。なお、本体料金は、料金からその料金に含まれる消費税等相当額を除いたものといたします。

算定の対象となる本体料金×支払期限日の翌日から支払いの日までの日数×0.0274%（1円未満の端数切り捨て）

（備考）

消費税等相当額の算定方法は、別表第1(4)のとおりといたします。

- (3) 延滞利息は、原則として、お客さまが延滞利息の算定の対象となる料金を支払われた直後の支払義務が発生する料金とあわせてお支払いいただきます。
- (4) 延滞利息の支払期限日は、(3)の規定にもとづきあわせてお支払いいただく料金の支払期限日と同じといたします。

10. 単位料金の調整

- (1) 当社は、毎月、(2)②により算定した平均原料価格が(2)①に定める基準平均原料価格を上回りまたは下回る場合は、次の算式により別表の料金表の各基準単位料金に対応する調整単位料金を算定いたします。この場合、基準単位料金に替えてその調整単位料金を適用して料金を算定いたします。なお、調整単位料金の適用基準は、別表第1(5)のとおりといたします。

① 平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

調整単位料金(1立方メートルあたり)

$$= \text{基準単位料金} + 0.078 \text{円} \times \text{原料価格変動額} / 100 \text{円} \times (1 + \text{消費税率})$$

② 平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき

調整単位料金(1立方メートルあたり)

$$= \text{基準単位料金} - 0.078 \text{円} \times \text{原料価格変動額} / 100 \text{円} \times (1 + \text{消費税率})$$

(備考)

上記の算式によって求められた計算結果の小数点第3位以下の端数は切り捨て。

(2) (1)の基準平均原料価格、平均原料価格および原料価格変動額は、以下のとおりといたします。

① 基準平均原料価格(トンあたり)

27,350円

② 平均原料価格(トンあたり)

別表第1(5)に定められた各3か月間における貿易統計の数量および価額から算定したトンあたりLNG平均価格(算定結果の10円未満の端数を四捨五入し10円単位といたします。)およびトンあたりLPG平均価格(算定結果の10円未満の端数を四捨五入し10円単位といたします。)をもとに次の算式で算定し、算定結果の10円未満の端数を四捨五入した金額といたします。ただし、その金額が43,760円以上となった場合は、43,760円といたします。

平均原料価格

$$= \text{トンあたりLNG平均価格} \times 0.4414$$

$$+ \text{トンあたりLPG平均価格} \times 0.0371$$

③ 原料価格変動額

次の算式で算定し、算定結果の100円未満の端数を切り捨てた100円単位の金額といたします。

- a. 平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき
原料価格変動額
＝平均原料価格－基準平均原料価格
- b. 平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき
原料価格変動額
＝基準平均原料価格－平均原料価格

11. 名義の変更

お客さままたは当社が契約期間中に第三者と合併し、またはその事業の全部もしくはこの選択約款にもとづく契約に関係ある部分を第三者に譲渡する場合には、お客さままたは当社は当該契約をその後継者に承継させ、かつ後継者の義務履行を相手方に保証するものといたします。

12. 契約の変更または解約

- (1) お客さまのガス使用計画に変更がある場合、または2(2)もしくは2(3)の規定によりこの選択約款が変更された場合は、双方協議してこの選択約款にもとづく契約を変更または解約することができるものといたします。
- (2) 当社に契約違反があった場合は、お客さまのお申し出にもとづき、この選択約款にもとづく契約を解約することができるものといたします。
- (3) お客さまに契約違反があった場合(4の適用条件を満たさなくなっ

た場合を含みます。)には、当社はこの選択約款にもとづく契約を解約することができるものといたします。なお、4の適用条件を満たさなくなった場合、お客さまは、当社にただちにその旨を連絡していただきます。

- (4) この選択約款にもとづく契約が解約された場合、当社はその解約の日の翌日にお客さまから一般ガス供給約款にもとづく契約の申し込みがあったものとして取り扱うことがあります。

13. その他

その他の事項については、一般ガス供給約款を適用いたします。

付則

1. 実施の期日

この選択約款(以下「本選択約款」といいます。)は平成28年10月14日から実施いたします。

2. 本選択約款の実施に伴う切替措置

(1) 当社は、平成28年10月13日まで小型空調専用契約(選択約款)一群馬地区-(以下、「旧選択約款」といいます。)の適用があり、平成28年10月14日以降、本選択約款が適用されるお客さまについて、その初日が平成28年10月13日以前に属し、その末日が平成28年10月14日から平成28年10月31日までの間に属する料金算定期間の料金については、本選択約款8の規定にかかわらず次の算式により算定いたします。

(算式)

料金(小数点第1位以下の端数切り捨て)

=①旧選択約款適用期間の料金+②本選択約款適用期間の料金

①旧選択約款適用期間の料金(小数点第3位以下の端数切り捨て)

=③旧選択約款の基本料金 $\times D_1 / D$ (小数点第3位以下の端数切り捨て)

+④旧選択約款10の規定により平成28年5月から同7月の平均原
料価格にもとづき算定した調整単位料金 $\times V_1$

②本選択約款適用期間の料金(小数点第3位以下の端数切り捨て)

=⑤本選択約款の基本料金 $\times D_2 / D$ (小数点第3位以下の端数切り
捨て)

+⑥本選択約款10の規定により平成28年5月から同7月の平均原

料価格にもとづき算定した調整単位料金× V_2

(備考) (以下(2)から(7)においても同じ)

D = 上記料金算定期間の日数

D_1 = D のうち旧選択約款適用期間の日数

= 料金算定期間の初日から起算して平成28年10月13日までの日数

D_2 = D のうち本選択約款適用期間の日数

= 平成28年10月14日から起算して料金算定期間末日までの日数

V = 上記料金算定期間の使用量

V_1 = V のうち旧選択約款適用期間の使用量

= $V - V_2$

V_2 = V のうち本選択約款適用期間の使用量(小数点第1位以下の端数切り捨て)

$$= V \times \frac{43.14 \times D_2}{45 \times D_1 + 43.14 \times D_2}$$

- (2) 当社は、(1)の料金の算定にあたって、旧選択約款および本選択約款においていずれの料金表を適用するかは、次の算式により算定した1か月換算使用量により判定します。

(算式)

①旧選択約款適用期間の1か月換算使用量

$$= V_1 \times D / D_1$$

②本選択約款適用期間の1か月換算使用量

$$= V_2 \times D / D_2$$

- (3) 当社は、(2)にもとづき判定した料金表の旧選択約款において適用する基本料金と本選択約款において適用する基本料金が等しい場合

は、(1)によらず次の算式により料金を算定いたします。

(算式)

料金(小数点第1位以下の端数切り捨て)

＝⑤本選択約款の基本料金

＋④旧選択約款10の規定により平成28年5月から同7月の平均原料価格にもとづき算定した調整単位料金 $\times V_1$

＋⑥本選択約款10の規定により平成28年5月から同7月の平均原料価格にもとづき算定した調整単位料金 $\times V_2$

- (4) 当社は、(1)の料金の算定にあたって、一般ガス供給約款22(3)の①から⑤のいずれかに該当する場合は、旧選択約款適用期間の料金および本選択約款適用期間の料金を、それぞれ次の算式により日割計算します。

(算式)

①旧選択約款適用期間の料金(小数点第3位以下の端数切り捨て)

＝③旧選択約款の基本料金 $\times D_1 / 30$ (小数点第3位以下の端数切り捨て)

＋④旧選択約款10の規定により平成28年5月から同7月の平均原料価格にもとづき算定した調整単位料金 $\times V_1$

②本選択約款適用期間の料金(小数点第3位以下の端数切り捨て)

＝⑤本選択約款の基本料金 $\times D_2 / 30$ (小数点第3位以下の端数切り捨て)

＋⑥本選択約款10の規定により平成28年5月から同7月の平均原料価格にもとづき算定した調整単位料金 $\times V_2$

- (5) 当社は、(4)における旧選択約款適用期間の料金および本選択約款適用期間の料金の算定にあたって、旧選択約款および本選択約款にお

いていずれの料金表を適用するかは、次の算式により算定した1か月換算使用量により判定いたします。

(算式)

①旧選択約款適用期間の1か月換算使用量

$$= V_1 \times 30 / D_1$$

②本選択約款適用期間の1か月換算使用量

$$= V_2 \times 30 / D_2$$

- (6) 当社は、(5)にもとづき判定した料金表の旧選択約款において適用する基本料金と本選択約款において適用する基本料金が等しい場合は、(4)によらず(3)の算式により料金を算定いたします。

この場合、本選択約款の基本料金を次の算式により日割計算いたします。

(算式)

日割計算後基本料金

$$= \text{本選択約款の基本料金} \times D / 30 \text{ (小数点第3位以下の端数切り捨て)}$$

- (7) 当社は、その初日が平成28年10月13日以前に属し、その末日が平成28年11月1日以降に属する料金算定期間の料金についても、上記(1)から(6)により算定いたします。ただし、(1)(3)(4)の「⑥本選択約款10の規定により平成28年5月から同7月の平均原料価格にもとづき算定した調整単位料金」は、「⑥本選択約款10の規定により平成28年6月から同8月の平均原料価格にもとづき算定した調整単位料金」に読み替えます。

(別表第1)

料金および消費税等相当額の算定方法

(1) 料金表の適用基準は、次のとおりといたします。

- ① 「料金表(その他期)」は、料金算定期間の末日が4月1日から11月30日に属する料金算定期間の料金の算定に適用いたします。
- ② 「料金表(冬期)」は、料金算定期間の末日が12月1日から3月31日に属する料金算定期間の料金の算定に適用いたします。

(2) 料金は、基本料金と従量料金の合計といたします。

(3) 従量料金は、基準単位料金または10の規定により調整単位料金を算定した場合は、その調整単位料金に使用量を乗じて算定いたします。

(備考)

上記の料金の算定式は次のとおりとなります。

$$\text{料金} = \text{基本料金} + \text{単位料金} \times \text{使用量}$$

(4) 料金に含まれる消費税等相当額は次の算式により算定いたします。

料金に含まれる消費税等相当額

$$= \text{料金} \times \text{消費税率} \div (1 + \text{消費税率}) \text{ (1円未満の端数切り捨て)}$$

(5) 調整単位料金の適用基準は次のとおりといたします。

- ① 料金算定期間の末日が1月1日から1月31日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、前年8月から10月までの平均原料価格にもとづき算定した調整単位料金を適用いたします。
- ② 料金算定期間の末日が2月1日から2月末日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、前年9月から11月までの平均原料価格にもとづき算定した調整単位料金を適用いたします。
- ③ 料金算定期間の末日が3月1日から3月31日に属する料金算定期

間の料金の算定にあたっては、前年10月から12月までの平均原料価格にもとづき算定した調整単位料金を適用いたします。

- ④ 料金算定期間の末日が4月1日から4月30日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、前年11月から当年1月までの平均原料価格にもとづき算定した調整単位料金を適用いたします。
- ⑤ 料金算定期間の末日が5月1日から5月31日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、前年12月から当年2月までの平均原料価格にもとづき算定した調整単位料金を適用いたします。
- ⑥ 料金算定期間の末日が6月1日から6月30日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、当年1月から3月までの平均原料価格にもとづき算定した調整単位料金を適用いたします。
- ⑦ 料金算定期間の末日が7月1日から7月31日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、当年2月から4月までの平均原料価格にもとづき算定した調整単位料金を適用いたします。
- ⑧ 料金算定期間の末日が8月1日から8月31日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、当年3月から5月までの平均原料価格にもとづき算定した調整単位料金を適用いたします。
- ⑨ 料金算定期間の末日が9月1日から9月30日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、当年4月から6月までの平均原料価格にもとづき算定した調整単位料金を適用いたします。
- ⑩ 料金算定期間の末日が10月1日から10月31日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、当年5月から7月までの平均原料価格にもとづき算定した調整単位料金を適用いたします。
- ⑪ 料金算定期間の末日が11月1日から11月30日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、当年6月から8月までの平均原料価

格にもとづき算定した調整単位料金を適用いたします。

- ⑫ 料金算定期間の末日が12月1日から12月31日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、当年7月から9月までの平均原料価格にもとづき算定した調整単位料金を適用いたします。

(別表第2)

料金表

(1) 適用区分

・ 料金表A

使用量が0立方メートルから61立方メートルまでの場合に適用いたします。

・ 料金表B

使用量が61立方メートルをこえ、92立方メートルまでの場合に適用いたします。

・ 料金表C

使用量が92立方メートルをこえる場合に適用いたします。

(2) 料金表

① 料金表A

a. 基本料金

1か月につき	756.00円 (消費税等相当額を含みます。)
--------	----------------------------

b. 基準単位料金

その他期	1立方メートルにつき	94.85円 (消費税等相当額を含みます。)
冬期	1立方メートルにつき	109.95円 (消費税等相当額を含みます。)

c. 調整単位料金

bの基準単位料金をもとに10の規定により算定した1立方メートルあたりの単位料金といたします。

② 料金表B

a. 基本料金

1 か月につき	1,295.13円 (消費税等相当額を含みます。)
---------	------------------------------

b. 基準単位料金

その他期	1 立方メートルにつき	86.06円 (消費税等相当額を含みます。)
冬期	1 立方メートルにつき	101.16円 (消費税等相当額を含みます。)

c. 調整単位料金

bの基準単位料金をもとに10の規定により算定した1立方メートルあたりの単位料金といたします。

③ 料金表C

a. 基本料金

1 か月につき	2,373.40円 (消費税等相当額を含みます。)
---------	------------------------------

b. 基準単位料金

その他期	1 立方メートルにつき	74.34円 (消費税等相当額を含みます。)
冬期	1 立方メートルにつき	89.44円 (消費税等相当額を含みます。)

c. 調整単位料金

bの基準単位料金をもとに10の規定により算定した1立方メートルあたりの単位料金といたします。

MEMO